

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 22-015

PDCA	事務事業名	青山記念武道館管理運営事業	部課等名	健康子ども部スポーツ課 施設担当	担当	伊藤	
					内線等	27-6663	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第2節 生涯学習の推進 基本施策： 4. 生涯スポーツ・レクリエーション 単位施策： (2) スポーツ施設の効率的利用と整備・充実 個別施策： ③スポーツ施設の整備					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	快適なスポーツ環境の環境維持に努め、青山記念武道館の設備の充実を図り、利用者が安全にスポーツができる場所を提供する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	・大道場の床修繕 ・指定管理者による施設管理の継続 ・自主事業の企画運営 ・利用者アンケートの実施					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	30年度	元年度	2年度	単位	
		①年間利用可能日	331	309	278	日	
		事業費	28,596	29,346	33,434	千円	
		人件費	1,972	1,723	1,630	千円	
		総事業費	30,568	31,069	35,064	千円	
		活動単位当たりのコスト	30年度	元年度	2年度	単位	
	①青山記念武道館利用者1人あたりに要した経費	377	412	819	円/人		
	②青山記念武道館敷地面積1㎡あたりの管理及び整備コスト	2,660	2,703	3,051	円/㎡		
	成 果	成果指標	30年度	元年度	2年度	単位	
		①施設利用者数	実績値	81,130	75,438	42,823	人
			目標値	100,000	100,000	92,100	
		実績値					
		目標値					
		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ある
	事業の評価・課題	D					
		施設利用者数の目標値を達成できなかった。令和2年度は緊急事態宣言等のため、4・5月に閉館し、利用者数が減少した。利用者、指定管理者、市担当者で構成する有識者会議を実施し、大道場の床改修や空調設備メンテナンスなど利用者に安心安全に使用していただけるように設備等を整備していく。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 固定利用者の満足度上昇、新規利用者の獲得や施設の有効活用を図るため、指定管理者と綿密に協議をするとともに、施設を整備し利用者の増加に努める。 また、有識者会議の内容や利用者アンケートを活用し、より収益性や集客性の高い運営を実施し、市民ニーズの反映や施設の有効活用に努める。				
		令和3年度の目標	成果指標			目標値	単位
			①施設利用者数			92,100	人